

水稲、えだまめ、椎茸、たまねぎ／スマート農業、持続可能な農業、雇用の安定化  
スマート農業×IT活用で地域を支える先進法人  
～株式会社みずほライス（秋田県横手市）～

### 経営体の概要

設立年度：平成23年  
基幹作物：水稲、野菜  
経営面積：8.3ha

現在：令和7年  
基幹作物：水稲、えだまめ、椎茸、  
たまねぎ  
経営面積：83.4ha

### 土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

#### 【当初】

●前歴事業で造成された基幹的農業水利施設の老朽化や地区内の一部で用水不足が生じるなど農業用水の安定供給に支障が出ている。



幹線水路の老朽化

#### 【現在】

●国営旭川事業（H28～R12）により、老朽化した基幹的農業水利施設を改修し、用水システムの再編に伴う取水施設の統廃合を行うことで、農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定化に貢献している。

### 営農改善、経営転換等のポイント

#### ①スマート農業で実現する効率化と収益性向上

国営事業により農業用水の安定供給が維持され、農地集約、規模拡大の進展に併せ、スマート農業やIT活用も促進。ほ場管理・収量分析・施肥計画を可視化し、農業機械に連携させて効率化。ドローン直播や直進アシスト田植機などを導入し、農作業の省力化を図り、収穫後は工程管理システムにより収量分析・品質管理を最適化した。これにより経営判断の迅速化と収益性向上を実現している。



直進アシスト田植機

#### ②働きやすさと販売力強化で目指す持続可能な農業

雇用確保のため、農福加工施設の整備、更衣室や休憩室など職場環境を改善し、人材育成として定期面談、評価制度や福利厚生の実施を図っている。また、流通面では、JA出荷に加え、商社・EC・農福直売所も活用した多様な販路を確立。価格交渉と品質管理を自社で担い、高収益かつ持続可能な農業経営を実現している。



農福加工施設

#### ③椎茸栽培による雇用の安定化

冬期間の雇用確保を目的に椎茸菌床栽培に取り組み、通年での雇用を安定化。将来的な人材不足の中、障がい者や初心者でも容易に選別できるよう収穫後の椎茸のAI選別機を企業と共同開発。ベルトコンベア連動型の次世代機開発も進め、省力化と精度の向上を図り、より多様な人が活躍できる農業モデルの実現を目指している。

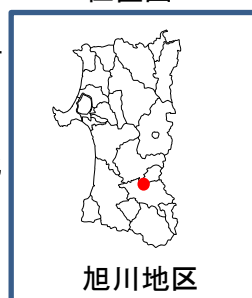


椎茸のAI選別機

### 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
関係市町：秋田県横手市、大仙市及び仙北郡美郷町  
受益面積：3,159ha  
事業期間：平成28年度～令和12年度  
事業目的：農業水利施設改修、用水再編及び耐震化  
主要工事：ダム改修1箇所、頭首工改修3箇所、  
用水路改修L=16.7km、  
水管理施設改修一式

#### 位置図



旭川地区

#### <問い合わせ先>

東北農政局  
農村振興部農地整備課  
競争力強化事業推進担当  
電話：022-263-1111  
内線（4460, 4201）

（令和7年度調査時点）